



2023年3月23日 秋元終身助祭

聖週間を迎えて

フィラデルフィ・パヴォール

主任司祭

南山教会の兄弟姉妹の皆さん、枝の主日を祝い、聖週間に入りました。聖週間は四世紀から祝われており、聖木曜日、聖金曜日と聖土曜日は「聖なる三日間」と呼ばれ、その頂点です。枝の主日は「受難の主日」とも呼ばれ、キリストの死と復活の勝利の前兆です。枝の主日の典礼は、私たちを罪から解放してくださった方、永遠の御国で私たちを待っておられる方に、自分の生活をもって歩み寄るよう促します。苦しみそれ自体には価値がありません。どんなに取るに足りない苦しみであっても愛を持ってそれを神様にささげる時には、価値が生まれます。聖パードレ・ピオはこう言いました「世界最大の悲劇は、活用されなかった苦痛です。」したがって、今年の復活祭の間、世界の苦しみや私たち自身の苦しみを神にささげましょう！さらに、皆様にはさまざまな用事、お仕事などがあると思いますが、聖なる三日間を一緒にお祝いするようにお願いします。この日々の中で経験する世界と私たち一人ひとりの十字架の道が、偽りの価値観に慣れすぎた「古い人」を脱ぎ捨てる機会となり「罪の墓」からよみがえり、復活したキリストによる新しい命、聖化された生活を迎えることとなりますように！

ご存じのように、転勤となつて、皆様と一緒に祝うキリストの受難と復活は最後となります。南山教会で五年間、司祭として福音の種を蒔く機会をいただけたこと。また皆様と出会えたこと。そしてたくさんご協力いただいたことを神様に感謝し、また皆様お一人、お一人に心から感謝いたします。

これからの皆様の人生の歩みが、信仰にみたまされ強められ、愛に励まされますようにお祈りいたします。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・10時・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

What does confirmation mean to me?

Is a question with multiple answers and meanings behind those answers.

First, I would like to Thank you Bishop for

Confirming me into the catholic faith for my eternal life

I wasn't just preparing for confirmation for those 12 weeks, my preparation has been my whole life.

Every time I walk into church, every time I pray, and even when I read The bible.

Confirmation meant giving my life to god and trusting the path that he has laid out for me, as well as the blessings he has waiting for me.

Confirmation has opened new light on my faith and has made my urge of building my relationship with god stronger every day.

Thank you Bishop Mileena Camcho

Confirmation was swathing I've always been excited about it was exciting and rewarding.

It meant that I was deeding and strengthening the gifts of the holy spit and giving my whole self to the church. This process of getting conformed also strengthened my relationship with the lord and to lean into my faith and hope in the lord.

Mealen Mary



○東京大司教区 麹町聖イグナチオ教会 (2月2日)
 主の奉献の祝日にベトナム語ミサに与りました。南山教会大聖堂よりも広いイグナチオ教会主聖堂が、いっぱいになるほどの参列者でした。若者が多く、聖歌や祈りにパワーを感じました。ベトナム語は全くわからないのですが、アーメン、マリア、ヨゼフ、ピラト、イスラエルなどの言葉が出てきて、ほっとした次第です。世界中で祈る場所や言葉が異なっても、神に祈りをささげることは同じと感激しました。イグナチオ教会ではミサの多くがライブ配信・掲載されていますので、よろしければWebページをご覧ください。世界が一つになって、平和へと歩むことができますように。

○大阪高松大司教区 夙川教会 (2月23日)
 この教会も、兵庫県の景観形成重要建築物、西宮市の都市景観形成建築物に指定された美しい教会です。高いゴシック様式の尖塔は、離れたところからも望むことができます。訪れた時、葬儀ミサの最後の方でゆっくりに祈りすることができませんでした。

大川 隆

○大阪高松大司教区 大阪高松力テドラル聖マリア大聖堂 (玉造教会) (2月23日)
 大阪高松大司教区の司教座聖堂である玉造教会でベトナム語のミサに与りました。東京の聖イグナチオ教会のベトナム語ミサと同様に、たくさんの若者であふれていました。信仰宣言が始まるとすぐに献金かごを素早く回して、パンとぶどう酒の奉納とともに献金をささげる形でした。聖体拝領時には、赤ちゃんを抱いた親子が先に祝福を受けているようでした。補助いすは、使用した人が自分、最後の方のイス置き場に直すことになっていました。ミサ後、前庭の



フアティマの聖母マリア像の前で祈りを捧げている方も多くいました。私たちが以外にも巡礼で訪れた方が何人かいらつしやいました。



パウロ神父様の勉強会

伊澤 美由紀

4月3日勉強会の冒頭、今日のテーマは皆さんから募集しますと用紙が配られた。勉強会の内容を問わずの質問や感想をそれぞれに記入し、記入者がわからないように回収、くじを引くように一つ一つ記入の内容を読み上げられ、それに対し回答されるという1時間になった。主に次のようなもの。①高齢者はどのような信仰生活をおくればよいですか②勉強会続けてほしいです、勉強会も終わって

しまうとこの先どのように生きていったらよいか、漠然とした不安を感じます③スロバキアでのマリア様のご出現についても一度教えてください。④人との関わりでつらいことになったとき、人に話さないようにするにはどうしたらよいでしょうか。といったのが主な内容で、それに対する神父様の回答に勉強会一同真剣に聞き入った。回答①出来ない出来るではなく、信仰の目で自分の状態を見る必要があります。自分の力がある限り、神様に毎日どんなことでも捧げましょう(困難・楽しいこと・辛いこと・悲しいこと)。神様がお与えになった役割を果たしましょう。人生の意味(自分が必要ということ)と、人に信仰を伝えることはできません。②マタイ6章25〜34節 思い悩むな 特に33節「なによりもまず、神の国と神の義を求めなさい」と。小さな恵みに気づいていないときもある、こんな私だけにと、キリスト教信者は悲観的になりがち、このような考え方になっ

ていませんか。こういうときは、人を信じるか、神様を信じるか、毎日選択です。③1990年スロバキア北部リトマノヴァの山で日曜日ミサに遅れると思つて遊び続けていた子ども(女の子2名、男の子1名)に現れた。(男の子は見なかった)。1995年まで汚れたき純潔の姿で現れた。女の子が聞いたメッセージを初金曜日(告解を受けた)の後の日曜日に、毎回聴く機会があった。自分も一度だけ参加した(16歳の時)のは偶然にも最後のご出現のメッセージの集まりの時であった。メッセージは、祈り、断食、回心で短い内容。自分はそれを機に回心し、司祭召命の導きへの道を真剣に考えました。④神さまに相談しました。悪口にならないようにどのよう

な実が待っているか考えましよう。全体的な改善の機会で、仲直りできたら良い、相手の善を思うこと、困難は試練となるが、困難を受けてその困難をもつて主に従うことによって私たちは成長していきます。または愛をもつても成長します。清くなりなす。日本では、絶対許さない、と心の扉を閉めてしまふ傾向がありますが、赦すことは、今は出来ないけれども、赦したいです、と直しましう、と。限られた時間の中で即答

なされるパウロ神父様のお姿に、内からのあふれるものを感じました。聖霊の導きを感じました。また、いつかまた勉強会や講演会などで教えていただく機会に恵まれますように。

神に感謝。

ワンポイントひらめき



秋元 恭子

いよいよ聖週間が近づいて来ました。19日復活徹夜祭、20日は復活の主日を迎えます。今回は回心の秘訣の一つを分かち合います。私は四旬節に回心の捧げものをしようと考えたとき、批判と裁きをしないこと、と思いつつも、無理かな？すぐに表れるから、と躊躇していたら、読んだ黙想書に、私たちの内にある批判や非難の思いをやめなさい。というイエスの招きに応じるものだけが・・・との言葉が目にとまり、決心し捧げものとしました。そして気付いたことは、自分の弱さ罪深さを見るとがっかりして、心が重くなるのですが、その時に、人を愛することを選ぶ！、と思いつながら回心すると、落ち込まず、速やかに弱さを認めることができ、その結果自由と平和が与えられ、心が軽くなり、愛するほうに向かう体勢ができました。愛するために回心するので、す！このことを悟らせてくださつた聖霊に感謝します。皆様いかがでしょうか。ぜひおすすめします。

「助祭とは典礼とみ言葉と愛の奉仕者です。」と名古屋教区終身助祭に叙階されて」

教区終身助祭 秋元伸介

2025年3月20日(木)の春分の日、快晴の天気恵まれ、私は名古屋教区のカトリック布池教会聖ペトロ・聖パウロ司教座大聖堂において、午後2時開始のミサの中で、松浦悟郎司教様より終身助祭に叙階していただきました。

私の助祭召命は2018年の4月、新学年の開始の仕事のために、当時教えていた岡崎市にある光ヶ丘女子高等学校に向かう車の中で祈っていたロザリオの「喜びの神秘」第一の黙想を祈っていた時に、心の中で「終身助祭(になるの)はどうか。」というイエスの御声を聞いたことに始まります。このロザリオの神秘の黙想の内容をご存じなら、お判りでしょうが、私の応えはマリア様と同じです。よと心の中で主に申し上げました。(このような形で私に呼び掛けるって、イエス様はなかなか賢いし、ちよつとズルいよとも、正直思いました。)

そこからコロナ禍やいろいろなことが世の中でありましたが、霊的同伴者となってくださった伴神父様や主任のパヴォール神父様を

はじめ、教会の皆様を支えられ、神に導かれながら、5年間で南山大学の在名古屋教皇庁認可神学部での知的養成と、教区本部事務局での非常勤の仕事、教区行事のお手伝いや、各小教区を訪問して行った主日の説教に代わる「教話」などの実践的養成を経ての受階でした。

私がおの際に皆様に差し上げた記念カードには大阪府茨木市にある「愛と光の家」という黙想の家のチャペルにある木彫の使徒ヨハネと聖母の写真があります。私の霊名はヨハネ・マリア・ヴィアンネですので、ヨハネとマリアの写真をちよつとした語呂合わせみにいに用いました。その彫像の近くには、祭壇、祭壇の背後の壁には十字架があるので、ヨハネ福音書にある十字架のもとに立つ主の母と使徒ヨハネの姿でもあります。私も主の十字架をいつも仰いで生きようと思えます。実はこのカードは全く残りませんでした。増刷する予定ですので、できましたら南山教会にもお持ちします。

さて、「助祭は、司教、司祭団との交わりのうちに、典礼とみ言葉と愛の奉仕によって、神の民に仕える恵みを受けます」と女子パウロ会のホームページ「Laudare」<https://www.pauline.or.jp/>

<https://www.pauline.or.jp/> catechism/catechism12.php)には説明があります。

「典礼とみ言葉」の奉仕については、ミサの中で福音朗読や説教の形で、また場合によって聖体を授けるといふ役割がありますし、「司祭不在の集会祭儀」に携わることも可能ですが、多くの方々がよく理解されていないように司祭に代わるものではないのです。使徒言行録6章1節から7節には助祭職がたてられたいきさつがあります。当時、誕生したばかりの教会は、「日々の分配」の事でもめ事がありませんでした。「仲間のやもめたちが軽んじられていた」ということですから、何らかの差別があったようです。十二使徒たち、今の教会で言う司教団、は全ての弟子たちの中から「霊」と知恵に満ちた評判の良い人」を7人選び、按手して教会の中の具体的な奉仕、愛の奉仕を担当させました。そういえば、私の叙階後、最初の奉仕は22日(土)南山教会マリ

ア館で行われた名古屋のカトリック障がい者連盟の四旬節黙想会の講師である司教様のお手伝いでした。まさにこれは「愛の奉仕」の始まりだと気が付きました。「叙階の秘跡に固有な聖霊の恵みは、秘跡を受けるその人を、祭司・師・牧者であるキリストに同

化させることです。こうして叙階を受けた人は、キリストの役務を果たすものとなるのです。司教が受ける聖霊の恵みは、特に、勇氣の恵みです。この恵みによって、司教は、すべての人、特に貧しい人、病人などに、無償の愛を注ぎ、キリストがそうであられたように、父のように、羊飼いのように、教会を力強く、賢明に導いていくことができるのです。」と先ほど紹介した女子パウロ会のホームページの記事には書かれています。

この記事をお読みになる皆さんにお伝えしたいことは、簡単に言えば、聖霊は私たちに「愛の奉仕」にあたらせる力、聖霊を与えてくださり、どのような奉仕にも聖霊が必要不可欠ということですから。全ての人が教会の聖職者となるわけではありませんが、神の民である私たち全員が、それぞれの信仰に応じて、聖霊は御心のままに賜物を分け与えてくださいます。そういう意味で、叙階された聖職者だけではなく、すべての信者が大なり小なり「愛の奉仕」に招かれています。「愛の奉仕」はまずは自分の身近にいる人たちに向けてすることが出来ます。奉仕には、「勇氣」と仕える者として「謙虚さ」「柔和さ」が必要不

可欠だと思えます。そして何よりも「喜んで」それをする事です。この世の力ある人々の様子とは全く異なりますね。だから教会は私たちに日々の祈りと聖書の朗読を通して、神との交わりを持つことを勧めていると思えます。

教皇フランシスコは2021年から開かれたシノドスのテーマを「ともに歩む」(シノダリティ)となさいましたね。聖霊は私たちを神と、そして互いに「一致」させ、「互いに愛する」ように促し、導きます。聖霊によってこのような力をいただいている私たちは「このいやしい主のはしのために」と自らを称した聖母マリアに倣って謙遜に、神の愛を表して生きることだと私は思います。これからの終身助祭職の奉仕において、このことを肝に銘じていきたいと思います。そのためにも皆様のお祈りを引き続きお願い申し上げます。

典礼一口メモ

香部屋の窓から

第80回 「教会芸術と教会用具」のお話2回目

典礼委員長 新内飛鳥

芸術家の養成

司教は自分自身で、あるいは芸術家に対する造詣と愛を備えた適性のある司祭によって、芸術家が教

会芸術と聖なる典礼の精神を身に着けるよう、彼らに配慮しなければならぬ。

さらに、芸術家を養成するために、教会芸術の学校あるいは教育機関が、ふさわしいと思われる地域に設立されるよう勧められる。

なお、自分の才能に導かれ、聖なる教会において神の栄光に奉仕することを志す芸術家はすべて、創造主である神のいわば聖なる模範を行っていること、そしてカトリックの礼拝、信者の向上、また彼らの信仰心と宗教教育を目的とする仕事に携わっているということを、つねに心に留めておかなければならない。

教育芸術

聖なる礼拝に関連した外的装備品に関する教会法と教会の規則は、聖なる建物の正しく適切な建設、祭壇の形態と建造、聖櫃の品位と位置と安全性、洗礼堂の機能性と尊厳、聖画像と装飾と装備品の正しい配置に関して、第二十五条の規定による典礼書とともに、早急に改訂されなければならない。刷新された典礼にあまり合致しないと思われるものは、改正もしくは廃止されなければならない。典礼を促進するものは保存もしくは導入されなければならない。このことに関して、とくに教

会用具と祭服の材料と形態について、本憲章第二十二條の規定に従って、土地の必要と習慣に適應させる権限が、地域の司教団に与えられている。

聖職者の芸術養成

聖職者は、哲学と神学の学習に専心する間に、教会芸術の歴史と発展、並びに教会芸術の作品が基礎とすべき健全な諸原理については、彼らが尊厳すべき教会の遺産を高く評価し、守り、作品の制作にあたる芸術家に適切な助言を与えることができるようになるためである。

司教用具

司教用具の使用は、司教の靈的印もしくは他の特別な裁治権を有する教会の職位にある人に留保されることがふさわしい。…典礼憲章からのお話はここまでにします。

今年は、4月中旬に聖週間を迎えます。今、わたしたちは四旬節を過ごしています。

灰の水曜日を境に四旬節を迎えました。四旬節には典礼色も紫に変わり慎み深く過ごすようになります。かつてユダヤの民が救い主の訪れを心待ちに日々の暮らしをつましく過ごしたように、私たちは聖週間を迎える前の時期を節制

の心で生きるのです。伝統的に四旬節の間を慎み深く過ごすために「四旬節の犠牲」を定めます。これは誰かに約束するというのではなくて一人一人が自分で決めるのです。生々しい例えですが、普段晩酌の習慣のある人がお酒を我慢するのだとか、おかずを一品減らすのだとかです。僕は学生の頃に「自分の部屋の暖房を使わない」と決めて取り組んだことがありました。先輩や友達が部屋を訪ねて来た時に「寒い」と言われ言い訳に困ったことを思い出します。自分自身も何か犠牲をささげることです。主の歩んだ受難の道を追体験というには大袈裟ですが、苦しみを黙想するのです。教会学校で関わったある子は四旬節で奉げた我慢で「愛の献金」を貯めました。合理的なことを言えば四旬節の犠牲にはそういった効果もあるのです。ですが、ここは合理性を意識しない方がいいですね。四旬節を慎み深く節制の心で生活することをお勧めする方法ととらえた方がいいでしょう。主であるイエス・キリストの受難に思いを馳せるのもさることながら苦しんで生活している人を心にとめてその苦しみを共に生きるといった気持ちを生かす味わい、黙想を深めることが出来ると思います。

4月6日

司祭団より

主任司祭のパウロ師が異動。後は吉祥寺教会から転任されるビジュ師。5月の評議会にはパウロ師もビジュ師も参加。助祭のトラン師(アントニー・トラン・ハン)も南山教会に配属されます。報告・連絡事項

1. 4・5月予定確認(信徒代表)別紙のとおり。

各月第2週に教会周辺清掃。4月13日枝の主日・教会周辺清掃・75周年記念誌編集委員会、4月20日復活の主日・BBQ、4月26日(土)14時から大聖堂で神のいっくしみの講話(講話・パウロ神父様)。4月27日バザー実行委員会、5月4日小教区宣教司牧評議会・75周年記念巡礼実行委員会、5月11日75周年記念誌編集委員会、5月18日ヨセフ会全体集会、5月25日バザー実行委員会。

2. 教会の設備について(宮繕委員会)
敷地内駐車場の駐車違反防止対策について

駐車違反防止の為の看板を作成後設置する予定でございましたが、新任のビジュ神父様着任後承認を頂き設置することとなりました。

・聖堂後部のらせん階段の安全確保のために照明を設置いたしました。

・結婚式控室に暖房の消し忘れが何度かありました、使用後は消し忘れに注意するようにお願いいたします。

・電気機器の消し忘れは機器によつては異常加熱による出火の危険性があります。

特に古い電気機器の消し忘れは危険です。夏場外気温が40度近く発熱による温度上昇も気温の上昇に比例し危険な温度になる場合があります。古い機器の使用、消し忘れに注意してください。

・結婚式控室から倉庫に至る扉の鍵のかけ忘れが何度か確認されております。

3. その他
香部屋のセキュリティに関する事案ですので、典礼委員会にて対策を審議していただき、その後対処いたします。

・神戸さんに名古屋教区より各種資料が届き、南山教会各会への補助金内訳が説明されました。

・2025年世界祈禱日…3月7日(金)10時~12時 カトリック布池教会にて毎年3月の初金に開催される祈禱集がありました。

キリスト教関連の7団体が持ち回

りで行われ、本年はカトリック教会在が担当でした。来年は日本キリスト教団が主催となります。

・典礼委員会よりヨセフ会へのお願いとして、洗足式への参加と復活祭の火起こしについて話があり、ヨセフ会にて手配することで確認できました。

審議・相談事項
1. 今年度小教区宣教司牧評議会メンバーについて(信徒代表)名簿の確認を行った。

2. ご復活のパーティーについて(信徒代表、ヨセフ会、マリア会)昨年度と同様のBBQを行うことを想定し、準備を進める。ヨセフ会が中心となる。予算は昨年度に準ずる。洗礼者についてはミサ閉祭時に聖堂でお祝いする。

3. その他
・バザー委員会に向けてメンバーの確認及び日程の確認をいたしました。バザーは10月26日(日)、バザー委員会は4月27日に開催します。

・ヨセフ会よりミサ中の奉納について他の会からの参加について相談があり、中高生会やベトナムグループなどが週ごとに行うなどアイデアが出ましたので、ヨセフ会が検討いたします。

・イースターの卵については教会学校・中高生会が300個準備し

ます。教会に来られる方がベトナムの方など増えている中、復活祭後のBBQは基本去年と同様としますが、事前に調整会をすることになりました。

各会報告
①典礼委員会
4月13日(日)枝の主日

16日(水)聖香油ミサ(※カテドラル)
17日(木)主の晩さん

18日(金)主の受難(※ミサではありません)
19日(土)復活徹夜祭
木々土は19時から

29日(火)教区典礼研修会
5月11日(日)教区インターナショナルミサ(※城北橋教会)
②典礼奉仕者の会
4月6日(日)10時ミサ前の十字架の道行き 教会学校と中高生会がご奉仕

③要約筆記の会
4月26日(土)はお休みします

(外部要約筆記依頼のため)
④教会学校
3月2日雛祭りに因み、皆でおこしものを焼いて頂きました。

3月9日 聖書を使って福音の分かち合いをしました。
3月16日 卒業式

次回 5月4日

“復活”についてのワンポイント

川原稔

●復活の一般的な意味

「復活」という言葉は、一般的に「再び生き返ること」や「元の状態に戻ることを指します。例えば、歴史上の王朝や文化が再び栄えることを「復活」と表現することがあります。また、病氣や怪

我からの回復、あるいは一度衰退したものが再び活気を取り戻すことも「復活」と呼ばれます。しかし、カトリック教会における「復活」は、これらの一般的な意味とは異なる、特別な意味を持っています。

■カトリック教会における復活

カトリック教会において「復活」とは、特にイエス・キリストが死後三日目に蘇った出来事を指します。この出来事は新約聖書の福音書に記されており、カトリック教会の信仰の中心的教義の一つです。イエスは十字架にかけられて処刑されましたが、その後、墓の中から生き返りました。この奇跡は、単なる生き返りではなく、神の力による完全に新しい命への移行とされています。

■復活の意義

カトリック教会の教えでは、イエスの復活は単なる奇跡ではな

く、人類の救いの計画の中心を成すものとされています。人間は罪によって死を免れない存在ですが、イエスはその死を引き受け、復活することで死に打ち勝ちました。この出来事によって、人々には永遠の命が約束されたのです。そのため、イエスの復活は、信者にとって希望と救いの象徴となっています。

■信者にとつての意味

カトリック信仰において、イエスの復活は単なる過去の出来事ではなく、現在を生きる信者にとつても重要な意味を持ちます。復活は「死後の命の存在」を示し、「神の愛と赦し」を具体的に示した出来事です。この教えを信じたことで、信者は自分たちも死後に神のもとで新しい命を得ることができると考えています。この信仰は、人生の困難や苦しみに耐える力を与えてくれるものです。

■復活祭（イースター）

カトリック教会では、イエス・キリストの復活を記念して「復活祭（イースター）」が祝われます。これはカトリック教会において最も重要な祝日であり、世界中のカトリック教会（および他のキリスト教会）で特別な礼拝が行わ

れます。イースターの日には、復活の喜びを象徴する卵やウサギの

飾りが用いられることもありま

■復活の教えが示すもの

イエスの復活の教えは、単に死後の命の約束にとどまりません。それは、今を生きる人々にも希望を与えるものです。人生には困難や絶望がつきものですが、イエスの復活は、神の力によってそれら乗り越えられることを示しています。カトリック教会では、この教えを大切にし、信者たちが希望を持って生きることが勧められています。

★結び

「復活」という言葉は、単に元の状態に戻ることを意味するのではなく、カトリックの教えでは「新しい命への変化」を指します。イエス・キリストの復活は、神の力によって人類に希望と救いをもたらしました。この教えを信じることは、ただ死後の世界を待ち望むだけでなく、現在の人生を希望を持って生きる力にもなるのです。イエスの復活は、すべての人にとって希望の光であり、信じる者に永遠の命を約束するものなのです。

教会学校卒業式 教会学校卒業生保護者 萩原房子

3月16日
(日) 六人

の子どもたちが教会学校を卒業しました。卒業記念に、業記念に、一人一人に新約聖書が贈呈されました。またこれまでお世話になった伊藤恭輔リーダーに、卒業生からお礼の色紙と花束をお渡ししました。



子供部屋 (毎月第4土曜日10:30~)



終身助祭叙階式（3月20日）
秋元伸介終身助祭

信者の消息

受洗

おめでとうございます

MARIA NGUYEN THI ANH TUYET
TERESA HOANG MAN AN

帰天

神の栄光にあずかれますように

徒ヨハネ 平尾 周三（88歳）
レオ 1世 奥谷 晃久（80歳）

転出

いつまでもお元気で

アシジのフランシスコ 岡田 茂（麴町教会）
クララ 岡田 直子（麴町教会）
ベルナデッタ 岡田 泉（麴町教会）
フランシスコ・ザビエル 岡田 星児（麴町教会）
ヨゼフ 内藤 斉（布池教会）
ヨゼフ 内藤 寛（布池教会）

転入

ようこそ

ラザロ 石原 立教（布池教会）
石原 早苗（布池教会）

結婚

□お幸せに□

PHERO NGUYEN THANH LICH □ MARIA NGUYEN THI ANH TUYET
テオフィルス 神原 信幸 □ 神原 ジュディス アン

2025年4月・5月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月	20日(日)復活の主日 27日(日)神のいつくしみの主日	18日(金)～26日(土)神のいつくしみの主日の9日間のノヴェナ 26日(土)神のいつくしみの講話	4日(金)マリア会例会(懇親会) 5日(土)典礼委員会 6日(日)小教区宣教司牧評議会、教会学校始業式・初聖体説明会 13日(日)中高生会始業式 26日(土)子ども部屋 27日(日)聖マリア会班長会・エマオの会	15日(水)司祭・修道者金銀祝の祝い 26日(土)レジオナリエ名古屋クリア
5月	聖母月	決算書の承認・決算書提出 11日(日)マリア祭の聖母行列(9:45)	2日(金)マリア会例会(懇親会) 4日(日)小教区宣教司牧評議会 24日(土)子ども部屋 24日(土)要約筆記付きミサ	11日(日)召命祈願日 城東ブロック 11日(日)インターナショナルミサ 17日(土)レジオナリエ名古屋クリア 18日(日)一粒会総会 25日(日)世界広報の日